

## 協 議 会 研 修 会 記 録

第71回研修会から第93回研修会、名古屋研修会および勉強会の記録を開催順にまとめた。  
 (第1回から第57回までの記録は本誌Vol. 10に、第58回から第70回までの記録はVol. 14, No 4に掲載)

1. 研修会記録は、回、プログラム、開催年月日の各項目についての記録である。
2. 講師、発表者等の敬称は省略した。
3. 講師、発表者が協議会会員、担当者の場合は原則として施設名のみ記し、所属部署や職名は省略した。ただし、紛らわしい場合や必要のある場合は併記した。
4. 開催地は原則として省略した。

(林 伴子)

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
71	(1) 病院図書室の基本業務(1) 単行書の整理 林 伴子 (社会保険神戸中央病院) (2) 病院図書室の基本業務(2) 雑誌の整理 田中 文子 (済生会兵庫県病院) (3) ビデオ上映 “生命を支える情報サービス 医学図書館” (4) 相互貸借業務—講義と実習— 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (5) 相互貸借業務 まとめ 山室真知子 (京都南病院)	1994. 7. 9
72	(1) オンライン、CD-ROMを使っての文献検索 —効率よい検索を行うために— 伊藤 勝 (㈱サンメディア) (2) 看護文献検索の指導法 木下久美子 (高山赤十字病院) (3) [看護の基礎知識] 訪問看護について 高沢 洋子 (淀川キリスト教病院) (当研修会は、1月17日の震災により中止した)	1995. 1. 25
73	事例・研究報告会 (1) CD-ROMマニュアルについて 山崎 捷子 (淀川キリスト教病院) (2) 当院の文献依頼における代行サービスの利用について 足立 郁子 (小牧市民病院)	1995. 3. 30

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	(3) NACSIS-IRを利用して 木下久美子 (高山赤十字病院) (4) Machintoshで稼働するDIALOG版 MEDLINE CD-ROM 小田中徹也 (国立京都病院) 座長：前田 元也 (西淀病院)	
74	(1) オンライン検索とCD-ROM検索の違い 特にJMEDICINEと医学中央雑誌を例に 伊藤 勝 (株サンメディア) (2) ビデオ上映 看護図書館 (3) [医学の基礎知識] 母子感染について 北島 博之 (大阪府立母子保健総合医療センター) (4) 看護婦の利用促進のために －利用指導を中心として－ 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院) (5) 日常業務についてのアンケート調査結果報告 報告 研修部	1995. 4. 26
75	(1) NACSISについて 米澤 誠 (学術情報センター) (2) 複写機 デモンストレーション (株ミノルタ) (3) [医学の基礎知識] 災害と心のケア 東原 繁樹 (社会保険神戸中央病院精神科部長) (4) 図書管理システム MaKLISマクリスの紹介 石川 雅基 (株三菱総合研究所グループシステム21)	1995. 7. 27
76	(1) 公立陶生病院図書室の概要 伊佐治裕子 (公立陶生病院) 岩瀬真奈美 (公立陶生病院) (2) 日本十進分類法新訂9版の看護分野についての評価 山添 美代 (厚生省看護研修センター講師) (3) 和雑誌特集記事データベースの紹介 松下 茂 (株サンメディア) 湯浅 智之 (株サンメディア)	1995. 11. 22
76	(1) 単行書の分類：NLMC 5th ed.について 松本 純子 (住友病院) (2) 複写機 デモンストレーション (株富士ゼロックス) (3) [医学の基礎知識] クラッシュシンドローム 滝沢 洋之 (社会保険神戸中央病院麻酔科部長)	1996. 1. 17

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>(4) 効率のよい雑誌管理</p> <p>①雑誌の受け入れ手順について 上川菜々子 (大阪労災病院)</p> <p>②短期貸出利用のための装備とシステム 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>③長期部署貸出の必要性と問題点 山室真知子 (京都南病院)</p> <p>座長 熊井亜由美 (兵庫県立尼崎病院)</p>	
78	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 阪神大震災後一年間のあゆみ 井川 美幸 (神戸労災病院)</p> <p>(2) 製薬会社の文献サービス自爾後の当院の対応 －文献依頼統計－ －CD-ROM使用統計－ 山崎 捷子 (淀川キリスト教病院)</p> <p>(3) パソコンを利用した相互貸借 成田 元樹 (耳原総合病院)</p> <p>(4) 図書室の業務報告書 (月報) を作成して 木下久美子 (高山赤十字病院)</p> <p>(5) 相互貸借の謝絶理由の分析 山室真知子 (京都南病院)</p> <p>座長 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p>	1996. 3. 25
79	<p>(1) 病院図書室日常業務の検証 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(2) 図書館司書の役割と専門性－公共図書館より－ 三苫 正勝</p> <p>(3) [コメディカルスタッフについて] 臨床工学技士 澤竹 正浩 (大阪府立母子保健総合医療センター臨床工学技師)</p>	1996. 7. 17
80	<p>(1) パソコンのABC 小田中徹也 (国立京都病院)</p> <p>(2) マルチメディア －電子出版やソフトウェアの紹介と使用体験－ 貴志 秀人 (株紀伊國屋書店)</p>	1996. 9. 25

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>(3) パソコン通信                      -加入・接続から利用まで-                      湯浅 智之 (㈱サンメディア)</p> <p>(4) インターネット                      -接続から利用まで WWWとe-mailを中心に-                      立道 勉 (㈱サンメディア)</p>	
81	<p>(1) 書誌事項の確認と所在確認                      -効率のよい相互貸借のために-                      徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(2) 各病院図書室における医学雑誌                      -所在目録の作成方法について-                      山室真知子 (京都南病院)</p> <p>(3) Internet Grateful Med の紹介                      福島 勲 (科学技術振興事業団)</p> <p>(4) 医療研修推進財団の取り組み                      -医療情報検索システムの紹介-                      種村 一郎                      杉本 満信 (医療研修推進財団)</p>	1996. 12. 17
82	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 移転後10年を経過しての現状と問題点                      -診療録管理室との兼務での実情-                      林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>(2) 新病院開院に伴う図書室新設から半年を経過して                      田中 典子 (市立堺病院)</p> <p>(3) 労災病院図書室ネットワークの第一歩                      -雑誌目録の作成①-                      井川 美幸 (神戸労災病院)</p> <p>(4) 学会教育施設の図書室規定について                      -アンケート結果を中心に-                      田中 文子 (済生会兵庫県病院)</p> <p>(5) 相互貸借における文献所在調査結果報告                      山室真知子 (京都南病院)</p>	1997. 3. 27
83	<p>「パソコンと病院図書室」</p> <p>(1) 蔵書管理                      ①蔵書管理ソフト・情報館・を用いて                      伊佐治裕子 (公立陶生病院)</p>	1997. 8. 9-10

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>②無人図書館での貸出管理 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>③表計算ソフト「エクセル」を用いた蔵書管理 山室真知子 (京都南病院)</p> <p>(2) 相互貸借 パソコンを利用した相互貸借 前田 元也 (西淀病院)</p> <p>(3) 検索 ①オンラインによる国内文献検索および所蔵調査 足立 郁子 (小牧市民病院)</p> <p>②MEDLINE CD-ROMのあれこれ 大西 幸雄 (㈱サンメディア)</p> <p>③インターネットの活用／当協議会のホームページと 医療・医学関連のホームページの紹介 小田中徹也 (国立京都病院)</p> <p>(4) グループディスカッション</p> <p>(5) 「ワークショップ」 ①利用者指導 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p> <p>②ニューメディアと図書館員 前田 元也 (西淀病院)</p> <p>③図書室業務 はじめの第一歩 山室真知子 (京都南病院) 木下久美子 (高山赤十字病院)</p> <p>グループ発表とディスカッション</p>	
84	<p>(1) 「基礎講座」 近病図協医学雑誌総合目録の利用法 —雑誌書誌データについて— 山室真知子 (京都南病院)</p> <p>(2) 学術雑誌の引用動向—JCRの統計指標の見方／インパクトファクターを中心に 棚橋 佳子 (インスティテュート・サイエンティフィックインフォメーション)</p> <p>(3) 「医学中央雑誌をきわめる」構成と利用法 CD-ROMをつかった検索実習 三沢 一成 (医学中央雑誌刊行会)</p>	1997. 12. 10
85	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 1年間の引き継ぎ期間を振り返って 前田 夏子 (名古屋第一赤十字病院)</p>	1998. 3. 26

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	(2) 図書業務のコンピュータ化－相互知者区を中心に 花北まゆみ（姫路赤十字病院） (3) 図書室PRのための利用案内 森川 治美（松阪中央総合病院） (4) 当院図書室の現状 －日本医療機能評価機構認定をとおして 大嶋みどり（武田総合病院） (5) 雑誌の訂正記事について 徳田 雅子（大阪府立母子保健総合医療センター）	
86	(1) 近畿病院図書室協議会の活動について 小田中徹也（国立京都病院） (2) 「病院図書館員の仕事」について 首藤 佳子（星ヶ丘厚生年金病院） (3) 相互貸借業務について 基礎知識・資料の使い方・基本ルール 中村 雅子（大阪府立母子保健総合医療センター）	1998. 6. 4
87	「病院図書館員をとりまく、今日的キーワードをおさえよう！」 (1) 診療情報管理における今日的キーワード 尾関美智子（国立京都病院診療情報管理士） (2) 看護における今日的キーワード 宮内 恭子（社会保険神戸中央病院） (3) パーソナルコンピュータにおける最近のキーワード 小田中徹也（国立京都病院） (4) 図書館情報学における今日的キーワード 山崎 茂明（愛知淑徳大学図書館情報学科） (5) 小児神経学における今日的キーワード 多田 博史（西宮市立中央病院小児科） (6) 「ワークショップ」 [病院図書館員の専門性とは何か？] ①病院図書館員の教育 森川 治美（松阪中央総合病院） ②知識と技術 松本 純子（住友病院） ③労働環境 前田 元也（西淀病院）	1998. 7. 31-8. 1

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>グループ発表とディスカッション</p> <p>(7) 病院図書館員認定資格制度検討班報告 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p>	
88	<p>(1) 6000誌をインターネットで配信 Proquest Direct 山下 幸待 (㈱サンメディア)</p> <p>(2) CD-ROM出版の現況と利用のポイント 安保 秀樹 (㈱サンメディア)</p> <p>(3) 病院図書室におけるCD-ROMの保管と貸出 山室真知子 (京都南病院)</p> <p>(4) 大学図書館におけるオンラインジャーナルの利用について 尾城 孝一 (東京工業大学附属図書館)</p>	1998. 12. 17
89	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 3年目を迎えるにあたって －これまでの業務、これからの展望 岸田 郁葉 (南大阪病院)</p> <p>(2) 入院患者図書サービス実現に至るまでの過 香川由美子 (社会保険広島市民病院)</p> <p>(3) 人事異動にともなう病院図書館の業務引継 前田 元也 (西淀病院)</p> <p>(4) ファイルメーカーProによる文献相互貸借システム “Lettura” の作成 須井真由美 (三菱京都病院)</p>	1999. 3. 25
90	<p>(1) 図書館員の仕事 －レファレンス・サービスを中心に－ 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p> <p>(2) 近畿病院図書室協議会の活動について 小田中徹也 (国立京都病院)</p> <p>(3) 図書室業務に必要な資料について 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(4) フリートークینگ 質疑応答</p>	1999. 6. 17
91	<p>「“司書力” をアップしよう！」</p> <p>(1) Evidence-Based Medicine (EBM) －診療行為の根拠と情報収集 森本 剛 (国立京都病院総合内科)</p> <p>(2) EBMデータベース等 デモンストレーション 橋本 剛 (ユサコ(株)電子メディアグループ)</p>	1999. 8. 27-28

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	(3) コクラン共同計画について 柳 元和 (住友金属(株)関西製造所特殊管事業所診療所所長) (4) [役にたつインターネット] ① 国立国会図書館作成の雑誌記事索引のデモ 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) ② 電子メールの使い方～基礎から実践まで～ 小田中徹也 (国立京都病院) (5) [ワークショップ] ① 看護職へのサービスについて ② 施設内のインフォメーションセンターとしての役割について ③ レファレンスツールと「学ぶ」方法・知識の修得 グループ発表とディスカッション	
92	(1) 円滑で効率のよい相互貸借をめざして 須井麻由美 (三菱京都病院) (2) 医中誌データベース検索における医学用語シソーラスの活用法 浜田 雅美 (医学中央雑誌刊行会編成課) (3) MeSHと医学図書館員 青木 任 (順天堂大学図書館) (4) 文献検索実習 指導 小田中徹也 (国立京都病院)	2000. 1. 11
93	事例・研究報告会 (1) 市立豊中病院における患者サービスの現状 高井真紀子 (市立豊中病院) (2) 病院図書室の司書となったこの1年と今後について -新病院移転に向けて- 安東 正子 (姫路赤十字病院) (3) キーワードconsumer healthを検索して見えてくるもの 千住とも子 (日本生命済生会附属日生病院) (4) 病院機能評価受審への取り組み -図書館担当者として- 森川 治美 (松阪中央総合病院) : 当日の都合により資料配布のみ (5) 近畿病院図書室協議会研修会プログラムのまとめ 研修部	2000. 3. 30



勉強会

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
4	(1) 図書室業務に必要な資料 林 伴子 (社会保険神戸中央病院) (2) 相互貸借申込業務の基本ー講義と実習ー 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (3) 相互貸借受付業務の基本 田中 文子 (済生会兵庫県病院) (4) 日常業務についての Q & A 司会 上川菜々子 (大阪労災病院) 助言 山室真知子 (京都南病院)	1995. 6. 28
5	(1) 雑誌所蔵目録のつくりかた ーデータの収集と管理ー (2) 相互貸借のルールとマナー 研修部	1996. 6. 6

名古屋地区・東海地区勉強会

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
1	(1) 相互貸借 (2) 業務量増加に関する問題 (3) 雑誌の保存 (4) その他	1994. 5. 28
2	(1) レファレンスの基本と考え方 山崎 茂明 (愛知淑徳大学図書館情報学科助教授) (2) インターネットで情報検索! 「病院図書館員のためのホームページ：フォリオ」の紹介 大橋真紀子 (社会保険中京病院)	1998. 11. 14

施設見学会

	開催年月日
大阪医科大学図書館	1994. 10. 18
大阪府立看護大学附属図書館	1995. 8. 25
(株)ナカバヤシ兵庫工場	1996. 11. 20
大阪歯科大学図書館	1998. 11. 14
近畿地区医学図書館協議会第4回シンポジウム	
大阪市立大学医学情報センターホール	1999. 11. 25
近畿地区医学図書館協議会第5回シンポジウム ー医学図書館の近未来ー	